

猿沢地域 夏の出来事 2018

日本各地で猛暑となつた2018年の夏。猿沢小学校にては最後の夏でした。伝統行事から地域で行われた行事など、猿沢まち協行事など、猿沢地域で行なつた一部を紹介します。

七夕の集い報告



7月5日、塩野町保育園と猿沢保育園が統合して2年目の七夕の集いが行われました。猿沢の茶の間の方と塩野町のサロンの会の方、玄関で顔をあわせると「ふさしね～!」「元気だったげ～?」と1年ぶりのご対面。そして子ども達とも1年ぶりのご対面。織姫と彦星のように…。

真っ暗になった遊戯室にブラックライトをつけると、織姫と彦星、天の川がきらきらと映し出され、おばあちゃん達、子ども達から「うわあ～!!」と歓声が上がり『おりひめとひこぼし』の昔話を聞きました。お話の後は、おばあちゃんたちに手を添えてもらい短冊やお飾りをささ竹いっぱいにつけました。みんなの願いがかないますように…。(猿沢保育園長 竹内美津子)

7/30 猿沢まち協役員研修を実施しました

今後のまちづくりを担う人材育成を目的に研修会を開催し、役員9名が参加。講師は都岐沙羅パートナーズセンターの能登谷愛貴氏です。講義では、地域づくりの意味、必要性、まち協の意義を再確認し、猿沢地区各集落の高齢化率・若年層の同居率を予測するワークを行い、データから地域の特徴をつかみました。要点は「小さな事からとにかく行動！」です。その後の意見交換では、まちづくり活動の住民参加を促すために、運営側も楽しめる活動を行うべきとの意見が共感を集めました。



上野

7/22(日)に、お楽しみ会で流し素麺をしました。流れてくる素麺を素早く掴む子ども達、一番下のザルに入る素麺をくわう子ども達、皆笑顔で楽しんでいました。素麺を食べた後、公民館でスイカを食べ楽しく過ごしました。(須貝 美樹 上野)

下三ヶ村（寺尾・宮ノ下・下中島）

7/29(日)、下三ヶ村子供会の恒例行事の一環として、BBQ&川遊びがありました。当日は、台風によるフェン現象もあり、気温は37度超え。あまりの暑さで、川はぬるめの温泉のような感覚でしたが、始まってすぐに子供達は、川遊びを満喫している様子でした。BBQでは、肉や海鮮、一家族ずつ持ち寄った食材や大量の焼きそばも焼いて食べました。中でも焼いたマシュマロは、子供達の間で美味しいと大絶賛でした。最後に夏の風物詩、スイカ割りも実施。今年は例年に比べ、大変な猛暑の中行なわれ



鵜渡路

7/29(日)に川遊び & バーベキューを行いました。猛暑のなか、子供達は仕掛けを作って魚取りをしたり、川に流されて遊んだりと自然を満喫しました。恒例のスイカ割りではお父さんも参加し親子で楽しみました。(志田 亜紀 鵜渡路)



猿沢

7/29(日)猿沢集落では納涼祭を行い、生徒・保護者計約35名が参加しました。2部制で構成し1部ではきれい館にてプール遊び2部では公民館でBBQ、ゲーム



を行いました。短い時間でしたが夏休みの1つの思い出になったと思います。(相馬 喜幸 猿沢)

檜原

檜原では毎年7月末の日曜日に集落PTAで子供たちと川遊びをします。川で泳いだりボートや浮き輪で遊んだり、お昼はバーベキューで、そのあとはスイカ割り。

この一日に夏を詰め込んだような、そんな一日でした。(渡邊 恒平 檜原)



板屋越

7/28(土)夏のお楽しみ会を行い、バーベキュー・流しそうめん・花火大会・肝試しをしました。子どもは12名と少ないですが大人も一緒に楽しみました。夏の良い思い出になりました。(貝沼 可奈子 板屋越)



寺尾夏の恒例行事「そうめん流し」



寺尾集落では7月16日、夏の恒例行事となった「そうめん流し」を行いました。今年は竹で作るコースを曲げたり段差をつけたりと、準備を担当した男衆が頑張って全長16mの

立体スライダーを作りました。集まった子供たちからは「スゲー！」の歓声があがり、お母さんたちが茹でてくれたそうめんが流れてくるたびに競い合って食べていました。

そばではかき氷や焼き鳥・ビールなども出されて雰囲気が盛り上がり、また日が暮れてからは花火が彩りを添える賑やかな一日となりました。(佐藤 政春 寺尾)

地域の茶の間シルクフラワーづくり 最後の猿小文化祭への出展が楽しみ！



シルクフラワーづくり、今年で三年目となりました。手先の不器用な私でも、どうにか花籠やひまわり、コスモスとおしゃべりしながら楽しくつくる事ができました。色紙に貼り、額に飾って見て、感動しました。

猿沢小学校最後の文化祭に出品されるのを楽しみにしております。

講師の横井栄子さんに一から十まで手解きを頂きながらも、コスモスの細かい花から葉っぱと上手にできました。色々、お世話になりました。(笠川せい子 下中島)

